

ROOTS



ビア

ラディクス

シリーズ・フォー

BEER RADIX IV

ラボ用・小規模商業生産用の

「ビール・炭酸飲料缶詰機」



- ルーツ機械研究所のBeer Radix は、世界唯一の250 (±50) 缶/時のモノブロック・ビール缶詰機。ラボ用や小規模商業生産用に！
- 1996年に「シリーズI」をリリースして以来、大手ビールの研究所、地ビール醸造所などで20基以上の実績。
- 空缶を投入するとエアリンス、カウンタプレッシャ充填、蓋巻き締めを自動運転でおこないます。オペレーター1人で作業可能。
- 充填液圧やガス圧はコンピューターでモニターされており、充填のためのすべてのパラメーターはタッチパネルで変更可能。
- 2011年からシリーズIVに進化。ハイ・ガスボリュームの製品でも安定して充填ができる新型バルブ構造を採用したほか、各部をリファイン。
- シーマーヘッドは「缶は停止して、ヘッドが回転する」セミトロ型ヘッドが標準。「缶が回り、レバー式シーミングローラーで巻き締める」アンジェラス型ヘッドがオプション。
- ビールのほか炭酸飲料缶全般に利用可能。ご注文に応じて、粘度の高い食品の缶詰などにも対応いたします。

(写真上・下) ミルウォーキーのミラークアーズ研究所にて。「ビアラディクスIV」(奥)と「3ヘッド水リッソナー」(手前)を組み合わせた事例。パイロットプラントで醸造されたビールの充填に採用。



フィルターボールを持たない独自の充填機構と、独立したガッシングステーションで、DOの増加量は最小限。ガッシングのパラメーターは自由に設定できます。

株式会社 ルーツ機械研究所  きた産業株式会社
ROOTS MACHINERY LABO. INC. KITA SANGYO CO., LTD.



ハイ・ガスボリュームの製品でも安定して充填ができるシリーズIVの新型充填バルブ。(写真のサニタリーコントロールバルブはオプション。)



オプションの天井部分に取り付けるクラス5相当のHEPAフィルター。



ビアラディックスの前に設置したオプションの「3ヘッド水リンサー」。「日付印字(インクジェット)」も搭載可能です。



地ビール醸造所で小規模商業生産に使用されている実例。(シリーズII、シリーズIIIを含む)

主な技術仕様 (改善・改良のため変更することがあります。)

Item	Description
Products	Beers or Carbonated Products
Rated output	See "Performance Data"
Other performance	See "Performance Data"
Temperature at filling	maximum 4°C
CO2 contents in products	To be specified
Elec. Voltage, etc.	200VAC 3ph 50 or 60Hz
Operation air	8 bar
Cleaning air	8 bar
CO2/ N2 pressure	6 bar
CO2/ N2 flow rate	Depends on the filling method
Products/CIP supply line	1.5S Ferrule (tri-cramp) (standard)
Cleaning / sanitizing	maximum 80°C hot water or cold sanitizer
Make of PLC	Mitsubishi (standard)
Weight of the machine	Approx. 1.2 tons

